

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会 研究倫理審査委員会にて許可されたものです。本研究の対象者又は代諾者（保護者等）に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

| | | | |
|---------------|--|---------------|------------|
| ① 研究課題名 | 心房中隔欠損患者における心房中隔角度の正常値：閉鎖デバイスを用いた解析 | | |
| ② 実施予定期間 | 承認日～2019年12月（予定） | | |
| ③ 対象患者 | 小児循環器科心房中隔欠損症のカテーテル治療を受けられた患者様 | | |
| ④ 対象期間 | 2006年4月～2018年10月 | | |
| ⑤ 研究機関の名称 | 社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 | | |
| ⑥ 対象診療科 | 小児循環器内科 | | |
| ⑦ 研究責任者 | 氏名 | 鍵山 慶之 | 所属 小児循環器内科 |
| ⑧ 使用する資料等 | カテーテル治療後に撮影した胸部レントゲン検査、カテーテル検査やエコー検査の結果を用います | | |
| ⑨ 研究の概要 | <ul style="list-style-type: none"> この研究は、当院と久留米大学との共同研究です。 心臓は年齢とともに傾いてくることが知られています。しかし、心房中隔が具体的にどの様にして角度が変化していくかは知られていません。心房中隔の角度は様々なカテーテル治療において必要な情報になります。対象となる患者様は心房中隔に器具が入っていることで、心房中隔の角度をレントゲンで推測することができます。当院で治療を行った患者様の心房中隔の角度を調べることで、年齢ごとの心房中隔の傾きを検討致します。 | | |
| ⑩ 倫理審査 | 研究倫理審査委員会承認日 | 2018年 12月 11日 | |
| ⑪ 研究計画書等の閲覧等 | 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。 | | |
| ⑫ 結果の公表 | 学会、論文等で発表いたします | | |
| ⑬ 個人情報の保護 | 個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。 | | |
| ⑭ 知的財産権 | 聖マリア病院及び久留米大学病院に属します | | |
| ⑮ 研究の資金源 | ありません | | |
| ⑯ 利益相反 | 研究結果に影響を与えるような利害関係はありません | | |
| ⑰ 問い合わせ先・相談窓口 | 聖マリア病院 小児循環器内科 鍵山 慶之 | | |
| | 電話 | 0942-35-3322 | |